

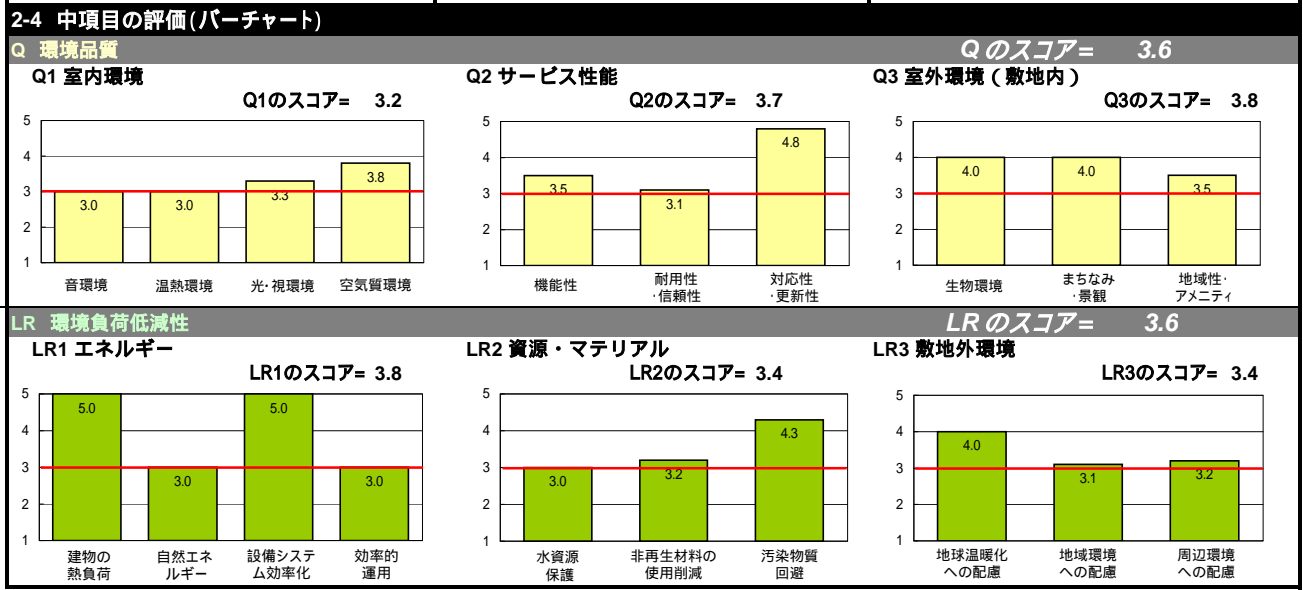
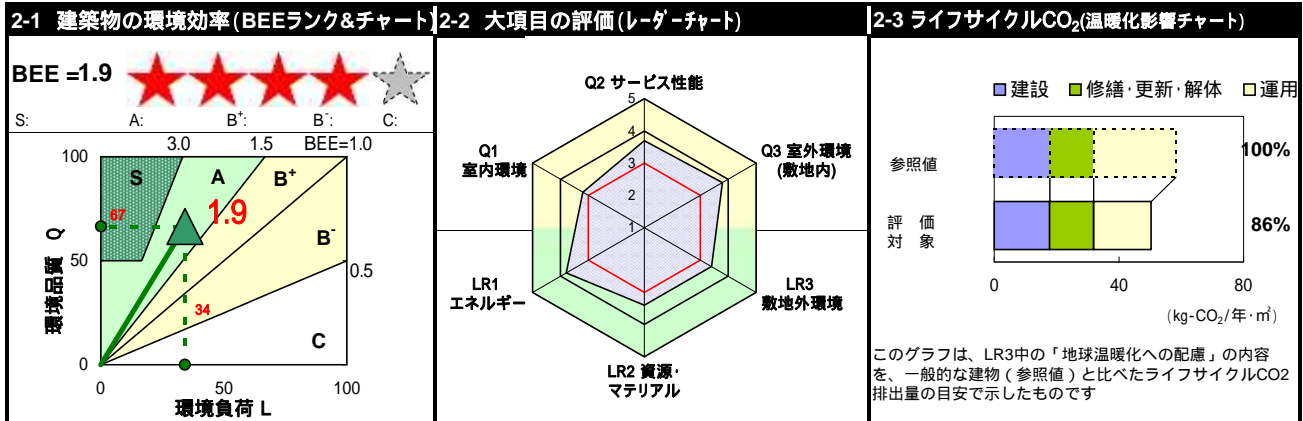
CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福山通運(株)藤沢流通センター	階数	地上5F
建設地	神奈川県藤沢市葛原字芝地920-1	構造	S造
用途地域	市街化調整地域、法第22条指定区域	平均居住人員	130人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年11月 予定	評価の実施日	2010年8月30日
敷地面積	30,934 m ²	作成者	五洋建設(株) 梁瀬和人
建築面積	14,836 m ²	確認日	2010年8月31日
延床面積	31,166 m ²	確認者	五洋建設(株) 今村浩一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 ○敷地全体において環境負荷の低減に配慮している。		その他 0
Q1 室内環境 ○化学汚染物質を発生する資材を使用しない様考慮している。	Q2 サービス性能 ○設備機器の更新性の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) ○建物利用者の設計段階からの参加を実施し、施設の使用効率の向上に努めている。 ○既設緑地を生かし、さらに増設している。散水栓設備も設置している。
LR1 エネルギー ○高効率照明を採用している。	LR2 資源・マテリアル ○躯体と仕上げを容易に分離できるよう考慮している。 ○環境を悪化させる物質を発生する建材は極力使用しない様配慮している。	LR3 敷地外環境 ○宅内へ十分な駐車場と、荷捌きエリアを確保する事により交通インフラへの負担の軽減に努めている。 ○分別収集の際に使用した容器等によるゴミの量の把握、及び使い捨て製品を極力使用しない様徹底する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたし